### 結果分析と指導のポイント(中学校国語) 令和元年度和歌山県学習到達度調査

### 「話すこと・聞くこと」に見られた課題

# ポイント

発表するときは、目的や意図

に応じて、事柄が明確に伝わる

ような工夫が必要です。自分の

立場を明確に説明すること、話 の構成を工夫し、事実と感想、 意見を区別して伝えること等 聞き手を意識して話すことが求

められます。また、 適切な言葉

遣いについては、丁寧な言葉や 常体・敬体の使い分けといった

小学校での学習内容も踏まえ,

生徒の発表の場面等において、

継続的に指導や助言を行いま しょう。授業では、実際にス ピーチする様子を録画・録音し

て振り返りの場面を設定し、話 し手と聞き手の両方の立場から

検討する等の学習活動が有効で

H24B<sub>(1)</sub>1

H29B23

マスター問題集 中1 (19)

表現が用いられ、

発表の場に合った言葉遣いだったので

ていねいな言葉や順序を示す言葉など、

聞き手を意識した

よかったです。

正答率 26.7% 無解答率 0.8%

▲ 山田さんは 写系の内容] いあとの1~3に答えなさい。 2 「地域行事のごみ問題」について発表しました ٤ 発表に用いた【資料】を読んで、

(1) やすかった点を伝えました。その発言として適切なものを、 1~5の中からすべて選び、その番号を書きなさい。 山田さんの発表を聞いた学級の仲間は、

次の

向けて調べたことや考えたことを順に発表していたので分か りやすかったです 地域行事のごみ問題について、体験をきっかけに、

な言葉遣いで説得力とリズム感があったのでよかったです。 文末が常体でそろえられており、 発表の場にふさわしい適切

最後に自分の地域の活動を紹介していたので分かりや かったです まず地域行事のごみ問題とそこから感じたことを発表し

2 (1) 「話すこと」

5

(2)

田中さんが作成している原稿の

原稿を完成させなさい。

次の条件1

に文章を入れて、 -3に従って書くこと。

「話の構成の工夫」、「場に応じた適切な言葉遣い」を問う設問 です。5つの選択肢から、適切なものをすべて選ぶ問題でしたが、 正答を2つ選んだ上に、もう1つ誤答を加えて解答しているもの が多く見られました。

<誤答例>

組みと、そこから感じたことをまとめて話していたので

地域行事のごみ問題について、

- ●1, 4, 5(5「地域住民から聞いた取り組み」×)
- ●1,3,4(3「最後に自分の地域の活動を紹介・・・」×)
- ●1, 2, 4(2「文末が常体でそろえられており」×)

ヤレンジ確認シート 中1 H24A(1)2 H24A@1

H27A11 H27A①2

H28A(5)2 H28A51

H29A(2)2 H29A(7)1

H30B23 R122

### 「書くこと」に見られた課題

# 「読むこと(文学的な文章)」に見られた課題

ャレンジ確認シート 中1 H28B<sub>1</sub>1 H28A42 H29A\$2 H28B22 H30A52 **R13** 

5 (2) 「記述」

「このことから、」に続 けて書けていない, グラ フを正しく読み取れてい ない. 作成原稿の文脈 に沿って構成できていな いといった誤答が見られ ました。

### <誤答例>

- ●(このことから、)果実 がたくさんとれる。
- 全国の果実は和歌山 県が占めています。
- ●全国では果実は少な いことがわかります。

ポイント

無解答率 14.5%

マスター問題集 中1 20

条件2

条件1

二文で構成し、

七十字以内で書くこと。

(句読点も一字と数える。 一方、

和歌山県は、」 に続けて、

二文目は

げたことから分かる和歌山県の農業の特色を書くこと 「このことから、」に続けて、条件2で取り上

正答率 44.0%

複数の資料の中から必要な情報を取り出し、指 定された条件にしたがって、適切に表現すること が求められています。また、作成途中の原稿に追 加する場合、形式や文脈に沿って文章を作成する 必要もあります。複数の情報を正確に読み取るこ とはもちろん、様々な条件や目的に応じた表現が できる力を育みましょう。

チャレンジ確認シート 中1

H27A32 H28B31 H29A6 H29B(1)2 H30A32 H30B(3)1

マスター問題集 小6 ①②③④ 中1 ①②

3 (3)「文章の解釈」

主人公の気持ちの変化を条件 に従って記述する設問です。写 真によって心情が変化する場面 ですが、写真に写った物や様子 の叙述を解答に入れている誤答 が多く見られました。また、心情 が変化する前のことを書いてい る誤答も多く見られました。

<誤答例>

- ●高らかにトランペットをかまえ ているのを・・・
- ●先輩に言われた言葉を・・・
- ●小学校時代の自信があふれ ていた時のこと・・・

(具体的に書いていない。)

「マーチングクラブでの写真」という語句を用いること。 次の条件1~3に従って書きなさい 3

(3)

大谷さんは

【話し合い】

主人公の未来の気持ちが

大きく変化したきっかけを話そうとしています。

正答率 33.4% 無解答率 10.7%

登場人物の心情や作者の思いなどを想像するためには、 自分が感じたことや考えたことの根拠を、文章の一節や文章 の展開に照らして明らかにすることが大切です。授業では、 「なんとなくそう思う」といった生徒の発言や記述に対して、 「なぜそう思うのか」や「文章中のどの部分からそう考えるの か」等問い返すことを心がけましょう。繰り返し指導すること が、論理的な発言や記述のできる生徒の育成につながって いきます。

### 「読むこと(説明的な文章)」に見られた課題

魅力が海外から高い評価を受けるようになったことが挙げ

日本を訪れる外国人観光容が急増した背景には、

タイやベトナムなど東南アジアからの観光客は、

## 5

百万人程度で、その多くがタイなど東南アジアからの観光客

(1) 【資料1】で述べられている内容として適切なものを、 ・5の中からすべて選び、記号で答えなさい。 大阪万博が開催された一九七〇年に日本を訪れた外国人は

### 正答率 11.1% 5 (2) 「情報活用」 無解答率 13.7%

正答は「過去最多」です。文の照応が不適切な 引用や、本文中の語句を引用していない誤答が 多く見られました。また、【資料1】の内容や【資料 2】からわかることを踏まえていないものもありま した。1つの資料から他の資料につなげていく読 み方を身に付けることが必要です

選択形式の問題を解くには、叙

述を根拠にして細部まで読み取る力が 必要です。文の成分の順序や照応、文

の構成, 助詞や助動詞などの働きに注

意するといった「伝統的な言語文化と国

語の特質に関する指導事項」との関連

複数の資料を扱う問題を解くには、情

報を収集し整理・分類する力が必要で

す。得られた情報について別の資料に

当たったり、1つの資料では解決できな

かったことについて、ポイントを絞って他

の資料を探したりする言語活動が考え

られます。また、「話すこと・聞くこと」や

「書くこと」の指導とも関連を図りましょう

### <誤答例>

- ●1000万人 ●外国人旅行者
- ●新記録 ●ランキング 等

を図ることも大切です。

# から抜き出した言葉を入れて、文章を完成させなさい。

(1)「文章の解釈」

正答率 40.3% 2.1%

正答は「2,4」ですが それに加えて<u>「3」を選</u> 択したものや、「4」を選 択できていないものが 多く見られました。必要 な箇所を正確に、丁寧 に読み,書かれた内容 を正しくとらえることが 求められます。

観光客の数は減少していくと予想されている。 日本は英語の通じるところが少ないため、

日本での楽しみの 国

の一番に挙げるのは日本食だ。国や地域を問わず、どこの国の人も

見られた。

地域を問わず、共通して日本食が挙げられている。 四季に接することで、 外国人観光客が日本で楽しみにしていることとして、国や 自国の季節の移ろいを思い出している。

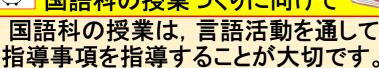
る。 と、し、

読み取るのが難しくなる傾向がし内容でも、別の表現で言い換え

評価を受けるようになったことが大きい いを求める」「四季の移ろいを思い出しが用いられていることや、「四季の移ろ が用いられていることや、「四季の移ろ本文と選択肢の表現に共通する語句 何といっても日本の魅力が海外から高い 日本を訪れる外国人観光客が急増

2 構造に共通する部分が多いため、 く選択することができた。 本文と選択肢の表 語句や 퍈

# 確かな力が身に付く 国語科の授業づくりに向けて



1時間、1単元で生徒に身に付けさせたい力 (指導事項)を明確にする。

中学校の国語の授業は、1単元にかけられる時間が短く、その中で多く の情報や長文を教材として学びを進めていかなければいけません。「この 1時間,この単元ではこの言葉の力を身に付ける」といったように、指導事 項を明確にし、学習活動を計画することが大切です。

生徒に身に付けさせたい力(指導事項)を習得 2 させるための効果的な言語活動を設定する。

学習活動を計画するときには、身に付けさせたい力を習得させるため に、効果的な言語活動を設定することが大切です。「生徒にどんな言語 活動をさせたら、身に付けさせたい力が付くのか」これが国語科の授業で は大きなポイントになります。また、単元末には、生徒が身に付けた力を 活用できるような言語活動を設定することも大切です。

具体的な評価規準を設定し、身に付けさせたい 力が確かに身に付いたかどうかを生徒の言語

授業で身に付けさせたい力が付いたかどうかを判断するために, 例え ば、「ワークシートにどのような記述が書けていればよいのか」といったよ うな生徒の具体的な状況を、指導者が明確にもっておくことが大切です。

生徒に確かな力が身に付く国語の授業づくりに向けて、 効果的な言語活動を設定した授業づくりをめざしましょう。

### 「伝統的な言語文化と国語の特質に 関する事項」に見られた課題

ている」と、文末の表現が似ていること

誤って選択してしまった。

### マスター問題集 中1 ⑦・⑧

ろいを求めて日本を訪れる人が多いという。【本文の内容】タイやベトナムなどの東南アジアから

1 (3) 「文の成分」

文節どうしの関係の理解 を問う設問です。「全員で」 は、連用修飾語であり、「ど うする」に当たる「はげむ」と 修飾・被修飾の関係にあり ます。

連体修飾語としてとらえて しまい、「合唱の」や「練習 に」に係ると考えてしまう誤 答が多く見られました。また その際に「合唱」「練習」の ように、文節ではなく単語で の解答も多く、言葉の単位 についても定着が不十分で あることがわかる解答が見 られました。

# 第2学年

文化祭の発表に向けて、

全員で合唱の練習にはげむ

1

(3)

次の文の

線部が修飾している文節を書きなさい

正答率 31.4% 無解答率 4.5%

文節どうしの関係は、まず単語や文節など、 文の構成要素について知り, 文節どうしの関 係が正しく結び付くことによって文が成立する ことを理解することが大切です。第1学年でも 言葉の単位の理解について課題が見られた ので、教科書の文法の単元をもとに、文章の 理解や表現の基礎をしっかりと定着させましょ